

平成22年度 行財政再生シート

NO.	10
-----	----

項目名	図書館（本館・分館）	事業名	図書館管理運営事業
担当部	教育委員会	担当課等	生涯学習課

この事業に係る費用を市民一人あたりに換算すると **1,507 円** です。

※事業費（平成22年度予算額）を人口5万5千人で除した額

1. 事業の目的・概要等

(1) 事業の目的	市民の学習と生活情報、文化の向上に寄与する。			
(2) 事業の概要	図書館資料の収集と整理、保存、利用に関すること。貸出文庫に関すること。読書会、展覧会等の開催と奨励に関すること。視聴覚資料の収集と貸出。			
(3) 実施・運営方法		1. 市が直接実施・運営		
	○	2. 外部へ委託または指定管理	委託先等	TRC・アクティオ・鹿島建物グループ
		3. 団体等への補助金により実施	実施主体	
		4. その他（ ）		
(4) 実施期間など	開始年度	明治42年度	終了予定年度	予定なし
(5) 根拠法令など				
(6) 近隣市町・類似団体等の状況	知多5市4町全てに同趣旨の施設が設置されている。 半田市（事業費187,474千円）、東海市（事業費150,170千円）、知多市（事業費112,920千円）、大府市（事業費113,414千円）			

2. 事業費の推移

(千円)

-		H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	
支出	事業費	34,771	33,448	81,514	81,514	
	正規	人数(人)	8.0	8.0	0.4	0.2
		人件費	64,000	62,400	2,760	1,380
	再任	人数(人)				
		人件費	0	0	0	0
	臨時	人数(人)	11.0	11.0		
		人件費	11,000	11,000	0	0
支出計		109,771	106,848	84,274	82,894	
財源	国・県支出金					
	地方債					
	その他()			0	0	
	一般財源	109,771	106,848	84,274	82,894	
市民1人あたり(円)★		1,996	1,943	1,532	1,507	
投資事業費	全体事業費		~H22末見込	H23以降	進捗率	
	うち一般財源		うち一般財源	うち一般財源	(H22末見込)	

※人件費の算出単価 ・正規職員 : H19/8,000千円、H20/7,800千円、H21/6,900千円、H22/6,900千円
 ・再任用職員 : H19/2,900千円、H20/2,800千円、H21/2,600千円、H22/2,400千円
 ・臨時職員 : H19~H22/1,000千円

★支出計を人口55,000人で除した額

3. 事業実績・計画と成果等

	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画
事業実績	利用登録者数 22,334人	利用登録者数 24,047人	利用登録者数 25,328人	利用登録者数 26,800人
	利用者数 68,600人	利用者数 69,562人	利用者数 74,359人	利用者数 71,500人
	貸出冊数 370,306冊	貸出冊数 377,578冊	貸出冊数 400,136冊	貸出冊数 392,800冊
	開館日数 287日	開館日数 280日	開館日数 298日	開館日数 287日
成果・効果	<p>毎年、利用登録をする人や利用者数、貸出冊数が増えており、市民の図書館として定着している。</p>			

4. 事業の必要性

必要性	チェック数	法定等の実施義務がある	緊急度が高い	✓	類似(代替)事業が存在しない	
	5	✓	実施目的が未達成である	政策・施策の中で優先度が高い	✓	受益者が多く市民ニーズが高い
		✓	市以外では実施不可能である	✓	継続しなければ効果が表れない	市長の公約に掲げている
		<p>廃止・凍結・休止・先送りした場合の影響</p> <p>本は教育・学習の基本であり、図書館は生涯学習の中核施設である。これを失うことは、市民への物理的影響だけにとどまらず、市の生涯学習への対応に不信感が生まれる。</p>				
	想定される代替事業	○	なし		-	
市既存事業の活用		市(担当課)				
		既存の事業				
民間事業の活用		想定事業主体				
	代替事業					

5. 事業の自己評価(今後の方向性・課題など)

<p>本施設は、幼児からお年寄りまで、幅広い層の市民に利用されている。施設の老朽化等の課題はあるものの、引き続き現状を維持していく必要があると考える。</p>
